

桐生のイベント

毎年8月の
第一金曜日
からの
3日間

桐生八木節まつり

本町
エリア



桐生八木節まつりは、歴史ある「桐生祇園祭」と郷土芸能「八木節」を中心とした伝統あるまつり。市内各所にやぐらが設置され、何重にも踊りの輪が広がり、熱気と興奮に包まれます。見るもよし、一緒に踊るもよし。現地でのこのまつりを体感すれば、必ず八木節の虜になります。この感動は桐生八木節まつりでしか味わえません。

会場 桐生市内各所、本町通り、末広通り、錦町通り
アクセス ・電車の場合
 ●JR桐生駅から徒歩すぐ ●東武鉄道新桐生駅からバス約5分
 ●上毛電気鉄道西桐生駅から徒歩1分
 ・車の場合
 ●北関東自動車道太田桐生ICより約25分
 ●北関東自動車道太田藪塚ICより約20分
問い合わせ先 ・事前の問い合わせ 桐生市役所観光交流課…電話0277-44-0754
 桐生商工会議所…電話0277-45-1201

桐生祇園祭

江戸時代前期に始まった桐生祇園祭は町の発展にともなって華やかさを増し、江戸末期には関東の三大夜祭りに数えられるほどになりました。現在も桐生八木節まつりのメイン行事として受け継がれています。

しちようめほこ
四丁目鉾

本町
エリア

1875年(明治8年)に完成した全高約9mにもなる、関東地方最大級の鉾。当時、織物産業で栄えていた桐生市を象徴するような豪華な造りとなっています。
 最上部に設置してある人形「素戔鳴命(スサノノミコト)」は、浅草の生人形師松本喜三郎の手により作られた、人間に近い精巧な造りとなっており、その迫力は圧巻です。



おきなほこ
翁 鉾

本町
エリア

1862年(文久2年)に完成した鉾で、頭(かしら)は頼朝、面(おもて)は翁であることから、翁鉾と呼ばれています。
 構造は非常にシンプルではありますが、彫刻部分の一部は、桐生では珍しい金塗りとなっています。
 8月に開催される「桐生祇園祭」では、4丁目鉾との共演が行われ、多くの観客を魅了します。



えびす講

毎年11月
19日・20日



桐生西宮神社の例祭として知られるえびす講。11月19日が「宵祭り」、20日が「本祭り」。商売繁盛を願う多くの参詣客が関東一円からおよそ20万人が訪れ、賑わいます。神社への参道と周辺の道路には、きらびやかなオタカラやクマデ、食べ物などを売る露店が数多く立ち並び、参道は歩くのも困難なほどの人出です。

新里まつり

毎年
8月15日



新里
エリア

新里総合グラウンドで開催される新里の夏を彩るメインイベント。恒例の八木節や有名芸能人のライブをお楽しみいただけます。フィナーレを飾る花火もお楽しみに！

15日
花火

16日
花火

連日
花火大会!

くろほね夏まつり

毎年8月
15日・16日



黒保根
エリア

水沼駅近くの黒保根運動公園で二日間にわたって行われるくろほね夏まつり。大人気のマスのつかみ取りや八木節競演大会が行われ、なかでも至近距離で打ち上げられる花火大会は大迫力です！

桐生ファッションウィーク

10月下旬
～
11月中旬

本町
エリア

桐生の秋を代表する催しです。開催期間中は市内各所で様々なイベントが開催され、その内容もファッション、織物、アート、歴史、食など様々。2006年から行われているクラシックカーフェスティバルは国内外の名車と一緒に会し、全国から車好きが集まります。



桐生のイベント

四季が織りなす、色とりどりの風物詩